

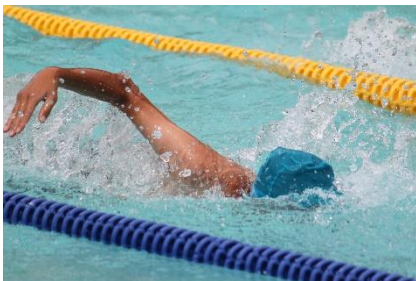


## 夏休みを終えて

44 日間の夏休みが終わり、今日から2学期です。まだまだ厳しい暑さが長引いていますが、子どもたちの元気な声が響くと、2学期が始まったことを実感します。全校登校日にも、体験したことを楽しそうに学級担任の先生に話している子どもが、たくさんいました。家庭や地域で、あるいは出掛けた先で、夏休みならではの経験ができたのではないのでしょうか。これからも、がんばったこと、楽しかったこと、驚いたことなど、いろいろな体験を報告してくれることを楽しみにしています。



さて、この夏休み中の7月26日から8月11日まで、2024パリオリンピックが開催されました。時差の関係から、真夜中にテレビ放映が多く、寝不足になった方もいることでしょう。連日、日本代表選手の活躍が報じられました。私が最も印象に残ったのは、卓球女子の早田ひな選手が、シングルス3位決定戦で接戦に競り勝ち、銅メダルを決めた試合でした。早田選手は二日前の試合で負った利き腕のけがを押しての出場だったこと、前回の東京大会では補欠だった悔しさを乗り越えて銅メダルを手にすることができました。また、どの選手も支えてくれた人への感謝の気持ちや、今回の結果に満足せず4年後への決意を語っていたこともすごいなと感じました。一人ひとりの見えない努力が、メダルや順位という見えるメッセージより、深く私たちの生き方に大きな影響を与えようと言うことを、改めて感じさせられるオリンピックでした。



水泳記録会



小中学生会議



少年自然の家

9月1日は「防災の日」です。1923年のこの日関東大震災が起り、たくさんの犠牲者や被害が生じました。また、暦の上で「二百十日」に当たり、台風などの風水害が多い季節です。地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、1960年に創設されました。今治市でも9月10日には一斉にシェイクアウト訓練が行われる予定で、本校も参加します。先日の台風でも早くから警戒や安全の確保について報道されていました。お盆前には南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表され、災害に対する備えや避難についての確認が呼び掛けられました。災害はいつ起きるかわかりませんが、備えができていないかどうかで大きく違ってきます。今後も日頃の防災教育や、様々な想定での防災訓練を進めていきたいと思ひます。



登校日の学級での発表

